

事業所名

共生型デイサービス 懐

支援プログラム（共生型児童発達支援）

作成日

令和7年

3月

26日

法人（事業所）理念		病気や障害があっても『住み慣れた家で自分らしくなごみの人たちに囲まれて暮らしたい』と願う地域住民が、安心して生活ができるよう、共創を根幹に取り組みます。そして、看護や介護が必要となっても、より安心して暮らせる地域を想像し、それを実行することにより社会に貢献します。									
支援方針		「お年寄りはお年寄りの施設」「障がい者は障がい者の施設」と仕切るのではなく、赤ちゃんからお年寄りまで、病気や障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に「一つ屋根の下」でデイサービスを受けられる場所、それが富山型デイサービスです。利用者が一方的に援助を受けるのではなく、高齢者や障がい者（児）そして子どもたちが、相互に教えたり教えられたり、手伝ったり手伝ってもらったりと、お互いに助け合うことで自分の役割を見つけられる“共生ケア”を目指しています。									
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・看護師による医療的ケア対応（服薬・経管栄養・吸引など） ・食事・排泄・着替えなどの日常生活動作（ADL）の支援 ・トイレトレーニングを実施し、排泄の自立を促進。視覚的支援（絵カード）を活用し、成功体験を重ねる工夫。 ・着替えや食事のサポートを行い、日常生活動作（ADL）の向上を目指す。 ・入浴支援を通じた清潔保持と、リラクセスによる情緒の安定を支援。 ・異世代交流を活かし、役割分担を経験することで生活スキルを強化。									
	運動・感覚	・理学療法士・作業療法士による個別リハビリを提供し、発達段階に応じた身体機能の向上を支援。 ・風船バレーやテーブルテニスなど、遊びを取り入れた運動を通じて、バランス感覚・筋力・協調性を養う。 ・入浴時の触覚刺激や、手遊び歌を活用した微細運動を促進。 ・医療的ケアが必要な児童にも個別対応し、安全に活動できる環境を整備。									
	認知・行動	・絵カードを用いた視覚的支援で、理解力・問題解決力を育成。 ・文字バズルやカルタ、季節に応じた創作活動を通じて認知機能を強化し、集中力・記憶力を養う。 ・日常生活の流れを視覚化し、自己決定力を育む環境を提供。 ・ルールのある遊びを通じて、行動の抑制力・順番待ちの理解を促進。									
	言語コミュニケーション	・絵カードを活用し、視覚的に情報を提示することで理解促進と発話を支援。 ・絵本の読み聞かせやカラオケ、手遊び歌を通じて言語表現の幅を広げる。 ・異世代交流で多様な会話を体験し、社会的コミュニケーション力を育成。 ・看護師・療法士と連携し、個別の発話支援を行うことで、言語発達を促す。									
	人間関係社会性	・高齢者・障がい者との異世代交流を通じ、思いやりや協調性を育む。 ・集団活動（リズム体操、ゲーム、創作活動）に積極的に参加し、集団内での役割理解を促進。 ・絵カードを用いて感情表現を学び、自己表現力と相手の気持ちを理解する力を育成。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」などの基本的なコミュニケーションを実践し、人間関係の基盤を形成。									
家族支援		○個別相談と情報共有 ・日々の活動や医療的ケア、リハビリの進捗を連絡帳やアプリで共有し、保護者の不安や悩みに寄り添った個別相談を実施。 ○家庭でできるケアの指導 ・理学療法士・作業療法士が家庭で行える簡単なリハビリや感覚遊びを提案。 トイレトレーニング等の生活習慣も家庭と連携して支援。 ○家族向けイベント・交流会の実施 ・季節行事や家族参加型イベントを開催し、児童の成長を共有する機会を提供。保護者同士の交流会も実施し、情報交換の場を創出。 ○福祉サービスや制度の案内 ・受給者証の申請や医療費助成、他の福祉制度について分かりやすく説明し、必要に応じて手続きのサポートを行う。				移行支援		○就学・就労に向けたスキル習得 小学校進学を見据え、集団活動でのルール理解やコミュニケーション力を養う。必要に応じて、特別支援学級・学校への移行支援を実施。 ○生活スキルの向上 食事・着脱・排泄など日常生活の自立を促進し、身の回りのことができるよう継続支援。 ○進路に向けた個別支援計画 児童の発達状況に合わせた長期的な視点で支援計画を作成し、関係機関と連携して次のステップへスムーズに移行できるよう支援。 ○他機関との連携 学校・医療機関・就労支援事業所と密に連携し、必要な情報を共有しながら移行をサポート。			
地域支援・地域連携		○地域行事への参加・共生の促進 地域の祭りやイベントに参加し、地域住民との交流を図ることで社会性を養う。 ○地域資源の活用 地域の医療機関・福祉施設と連携し、医療的ケアや生活支援の充実を図る。 ○共生型事業所の特性を活かした支援 高齢者・障がい者との異世代交流を通じて、社会とのつながりを感じる機会を提供し、共生社会の実現に貢献。 ○地域啓発活動 地域向け勉強会を開催し、医療的ケアや発達障がいに対する理解促進を図る。				職員の質の向上		○多職種連携の強化 看護師・理学療法士・作業療法士・保育士などが情報を共有し、児童のニーズに合わせた包括的な支援を実施。 研修・スキルアップ支援 ○医療的ケア・発達支援・行動理解に関する研修を定期的に実施し、職員の知識と技術を向上。 ○支援の振り返りと改善 定期的に支援内容を見直し、家族や関係機関からのフィードバックを活かして支援の質を向上。 ○外部機関とのネットワーク強化 医療・教育・福祉機関と連携を深め、最新の情報を共有し、より専門的で多角的な支援を実現。			
主な行事等		・季節に合わせた年間行事の開催。 ・年2回 事業所主催のマルシェを開催（地域交流・利用者家族との交流）									